

毎月15日発行 定価1部70円(組合員の購読料は組合費に含む) 本紙は再生紙を使用しています。

## 憲法改悪を許すな! 第200臨時国会が召集される!



### 臨時国会の主な 論戦テーマ

- 「あいちトリエンナーレ」への補助金不交付
- かんぽ報道をめぐるNHK番組の続編見送り問題
- 関西電力役員らの金品受領問題
- 台風15号への政府の初動対応
- 日米貿易協定の承認
- 国民投票法改正案と憲法改正を巡る憲法審査会の議論
- 消費税率10%への引き上げ
- 関係悪化が続く日韓関係
- ロシアとの北方領土問題
- 内閣改造による新閣僚の資質など



7月の参院選後で初めての論戦の場となる第200臨時国会が10月4日召集された。会期は12月9日までの67日間、政府は法案15本と日米貿易協定の承認案など提出するとしている。

自民党は改憲手続を定めた国民投票法改正案を「何としても今国会で成立を」(森山裕・国対委員長)と意気込み、憲法改正論議の本格化を狙っている。自民党は同時に、9条への自衛隊の明記など党改憲条文案を衆参憲法審査会に提示し、改憲の自身の議論を始めた考えだ。

一方、4党派が会派を合流した野党は、関西電力役員らの金品受領問題を受け、「憲法よりも関電」(立憲民主党・安住淳国対委員長)と実態解明を最優先し対決姿勢を強めている。

安倍首相は4日、衆参両院の本会議で所信表明演説を行い、改憲について「令和の時代に日本がどのような国を目指すのか。その理想を議論すべき場こそ憲法審査会ではないか。国会議員がしっかり議論し、国民への責任を果たそう」と改憲議論を呼び掛けて、演説を締めくくった。

参院選で改憲勢力が3分の2を割り込んだこともあり、ソフト路線での演説になったが、安倍首相は決して改憲を諦めてはいない。今後の主な政治日程にもあるように、自民党総裁任期満了の2021年9月までに何としても改憲を実現しようとしている。

私たちは、立憲野党をはじめあらゆる人々と連帯して、平和・人権・民主主義を守るために、憲法改悪に反対し続けよう。

### 今後の主な政治日程

2019年	臨時国会
10月4日	臨時国会
22日	天皇陛下下の「即位礼正殿(せいでん)の儀」
27日	参院埼玉選挙区補選投開票
31日~	東南アジア諸国連合(ASEAN) 関連会議
11月中旬	アジア太平洋経済協力会議(APEC) 首脳会議
2020年	通常国会
1月	通常国会
夏	東京都知事選
7月	東京五輪開幕
2021年	自民党総裁任期満了
9月	自民党総裁任期満了
10月	衆院議員任期満了



## 「さようなら原発全国集会」に約8,000名の市民、労働者が結集！

福島第一原発事故から8年半が経過した9月16日、「さようなら原発」一千万署名市民の会主催の「さようなら原発全国集会」が東京都代々木公園で開催された。集会には全国から約8,000名の市民、労働者が結集し、JR総連から150名の組合員・家族が参加、原発再稼働や辺野古新基地建設に反対の声を上げた。

集会では、呼びかけ人の落合恵子さんが「どんな社会にしていくなのか？ 大人たちの責任が問われる。あきらめず前に進み続けよう」と訴え、澤地久枝さんからのメッセージを紹介した。

続いて、フクシマから①福島原発事故刑事告訴支援団の地脇美和さんが、東京電力旧経営陣の裁判での証言や遺族の証言などを報告、②「避難の協同センター」の村田弘さんと熊本美彌子さんから、国や自治体が支援を打ち切り原発事故そのものを消そうとしている現状を報告、③飯館村焼却場被曝労働裁判原告のともさんから裁判闘争について報告された。

その後、東海第二原発運転差止訴訟原告団事務局の本木さゆりさんや原発ゼロ基本法案の成立をめざす立憲民主党の山崎誠衆議院議員がそれぞれ挨拶した。

連帯あいさつでは、高校生1万人署名活動の代表者や「止めよう！ 辺野古埋立て」国会包囲実行委員会の木村辰彦さん、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表がそれぞれ挨拶した。

福山さんは「安倍再改造内閣は極右、原発推進、福島切り捨て、沖縄新基地建設強行の内閣だ。みんなの力で退陣に追い込もう！」と訴えた。

最後に、呼びかけ人でルポライターの鎌田慧さんが「人間の尊厳を壊す原発と人間は共存できない。原発のない社会をめざそう」と訴え、集会終了後にデモ行進した。



## 戦争法の強行採決から4年！市民と野党の共闘で廃止までたたかおう！

他国を武力で守る集団的自衛権の行使を容認することを柱とした戦争法（安保関連法）が成立して4年を迎えた9月19日、国会議員会館前を中心に戦争法の廃止を訴える集会が開催され、市民や労働者ら約3,000人が参加した。

主催者である総がかり行動実行委員会の小田川義和共同代表は、「4年前、国会の数の暴挙で強行採決された。この悔しさを忘れない。安倍政権を打倒するたたかいをさらに広げよう」と呼びかけた。

続いて野党各党の代表が連帯の挨拶をし、「憲法違反の法律をなぜ成立させることができるのか」「今回の内閣改造はお友だち改憲内閣だ。野党と市民の力で安倍首相が目指す憲法9条の改憲を阻止しよう」などと訴えた。さらに、市民の代表者として日本体育大学・清水雅彦教授は、「それぞれの立場で声を上げ、次の選挙で安倍政権を終わらせよう」と訴えた。

この間、JR総連は在京単組の仲間を中心に毎月19日に開催される集会に参加し続けてきた。その回数は、4年間で48回にも及び、集まった労働者や市民の安保法・戦争法の廃止を求める声や、憲法9条の改憲を許さないたたかいは輪は広がってきている。

集会では、この19日行動で培ってきた野党と市民の共闘をさらに拡大し、安保法・戦争法の廃止に向けて、諦めることなくたたかいを継続することを参加者全員で確認した。

JR総連は、今後もすべての戦争政策に反対し、安倍首相が目指す憲法9条の改憲を阻止するために、4年前の悔しさを忘れず多くの労働者や市民とともに反対の声を上げたたたかいを抜く。





# 新生JR東労組を批判する『真実の目』は組織破壊攻撃であると確認!

JR東労組中央本部が「指令7号」(8月22日)で、組織破壊攻撃である『真実の声』の閉鎖を求めてきた結果、8月24日には『真実の声』が閉鎖されてきたところだが、9月13日付で『真実の目』なるものがインターネットにアップ(実際には9月14日)されているのが判明した。

その『真実の目』の「真実の目とは」という項目には、「閉鎖された『真実の声』は、…」という書き出しで始まっているように、『真実の声』を継承することが宣言されている。

また、「正常なJR東日本労使へ戻すために真実を見抜く目で発信します」というリードに続いて、「この間、JR東労組は労働運動を愚直に取り組んできました。…」とあるように、主語がJR東労組となっており、内部からの組織破壊攻撃であることは明らかである。

第2パラグラフには、「…自称『新生JR東労組』なる組織は、…」として、明らかに新生JR東労組を批判する立場であることを明確にした組織破壊集団である。

第5パラグラフには、「…「生産性向上」を声高に謳う会社のために存在する組織であるのは、もはや疑う余地もない真実です」とし、第6パラグラフで「…誰かの誹謗中傷ではありません。…」としつつも、御用組合であるかのようにJR東労組組織を罵倒している。

さらに、ページ下には「真実を見抜く目を養う実行委員会」とあるように、実行委員会という組織破壊の組織を立ち上げたものであり、JR総連・JR東労組に対する組織破壊を意図した攻撃は断じて許すことはできない。

JR総連は、9月18日に開催した第4回執行委員会において、『真実の目』については『真実の声』と同根(同質)のものであり、「組織破壊攻撃である」とことを確認した。

JR総連は、これからも新生JR東労組への組織破壊攻撃を許さず、さらに団結を強化して、「抵抗とヒューマンズ」を基盤に、あらゆる課題に果敢にたたかっていくものである。

## JR総連通信

2019年8月23日 No.1324

全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連) <http://www.jr-suren.com>

### JR東労組への組織破壊攻撃を許さず、さらに団結を強化しよう!

### JR総連・加盟単組が「組織破壊以外の何ものでもない」と組織決定した『真実の声』の管理者がJR東労組東京地本役員だったことが判明!

昨年6月10日に出所不明の『真実の目』なるものがインターネットにアップされ、これまで投稿者が匿名であることをいっていたこと、JR総連やJR東労組の組織、個人を誹謗中傷する組織破壊攻撃が掛けられてきた。

JR東労組役員が個人訴訟を行ったところ『真実の目』の管理者(発信者)は、中央執行部員の指定を受け、東京地方本部に派遣され、特別執行委員として企画部次長に就いている品山浩信君であることが判明した。

JR東労組中央本部は8月22日、第3回中央執行委員会を開催し、①品山浩信君が全12地本で組織破壊と確認した『真実の目』に加担していたことは、組織破壊以外の何ものでもない、②しかも品山浩信君はJR東労組に雇用されているが、JR東労組の名譽を著しく汚し、社会的信用を失墜させ、機関役員として団結または統制を乱した。よって中央本部は、品山浩信君を組織破壊者と断定し、中央執行部員の解除の決定と東京地方本部に特別執行委員の指定の解除を求めることを議場一致で確認し、同日、指令7号を発出した。

#### JR東労組 <指令7号>

1. 品山浩信君の中央執行部員を解除する。
2. 東京地方本部に品山浩信君の地本特別執行委員の任を解除することを求める。
3. 品山浩信君に『真実の目』の閉鎖を求める。
4. 中央本部は品山浩信君に対し、雇用と勤務に関する規則第25条2項に基づき、2019年8月23日から懲戒処分決定まで出勤停止を命ずる。
5. 12地方本部は指令の内容を全組合員へ周知し、組織破壊を許さない体制を構築すること。

JR総連は『真実の目』について、昨年10月26日に開催した第5回執行委員会において、『真実の目』は「組織破壊以外の何ものでもない」と確認し、午後から開催した単組・地協拡大代表者会議においても加盟各単組の「見解」、特にJR東労組については12地本に対して「見解」を求めて、それぞれの組織から「組織破壊以外の何ものでもない」という『見解』が提出された。

JR総連は、これからもJR東労組への組織破壊攻撃を許さず、さらに団結を強化して、あらゆる課題に果敢にたたかっていくものである。

JR総連通信No.1324 ホームページに掲載

# 「JR東労組への組織破壊は許さない!」JR総連OB連絡会拡大幹事会開催!

JR総連OB連絡会は、10月4日、目黒さつきビル会議室において2019年度拡大幹事会を開催した。はじめの日帰り開催となった今拡大幹事会には、各単組OB会の代表者と各単組のOB担当者、総勢28名が参加した。奥山会長は冒頭、「会長になって1年が経過したが、この場でまた皆さんの元気な顔を見ることができてよかった。そしてこの1年拡大幹事会をどのようにしていかか議論してきた。各単組、各地区での独自の活動は継続していく。それが各単組、JR総連の強化にもつながっている。下支えになっている。自信をもって進めていきたい。また、『真実の目』の発信者がはつきりした。組織破壊に加担したということだ。OB連絡会として看過できないという立場で望んでいく」と挨拶した。続いて、JR総連を代表して榎本委員長より情勢を含めた問題提起がされた。議事では、1年間の経過報告と来年以降の拡大幹事会等に対する考え方、核兵器廃絶1000万署名の取り組みと各都道府県退職者連合への加盟状況調査について提起された。その後、たたかひの報告として、最初に「JR東労組のたたかひの現段階」についてJR東労組の佐藤組織研修担当部長から報告を受け、次に各単組OB会の活動報告が行われた。JR東労組のたたかひ等について各単組OB会からも意見が述べられ、活発な議論となった。別室に場所を移し懇親会を行い、来年の幹事会までそれぞれの奮闘を誓い合い拡大幹事会は終了した。



# JR総連北陸地協第23回定期委員会を開催!



JR総連北陸地協は9月27日、上越市レインボーセンターにおいて第23回定期委員会を開催した。

冒頭、中田議長から、①参議院選挙結果における憲法改悪に抗するたための必要性、②多発する自然災害と復旧後の鉄道利用のあり方、③各社が矢継ぎ早に進める生産性向上施策における労働組合としてのチェック機能の重要性、について挨拶した。

来賓としてJR総連・柳書記長からは、今後の春闘における課題や「従業員代表制」の問題点について提起された。質疑では、7名の委員から職場における課題克服のたまたかいや安全・健康・働きがいのある職場の構築に向けた取り組み等の発言があった。

今定期委員会で、中田議長が退任し、新たに松尾新議長が選出された。

そして、JR総連北陸地協は強固な団結と連帯を基礎にして、平和・人権・民主主義を守り、安心して働き、暮らせる社会をつくるためにたたかい抜くことを全体で確認した。

(JR総連北陸地協より)

## 役員体制

議長	松尾 崇史 (JR貨物労組)
副議長	下村 達哉 (JR西労)
	吉川 博 (JR貨物労組)
事務局長	関根 利秋 (JR東労組)
幹事	横山 一以 (JR東労組)
	嶺蔭 裕幸 (JR西労)
	山口 大介 (JR貨物労組)

# 安倍「壊憲」に立ち向かおう!~JR総連中国地協第32回定期委員会~



JR総連中国地協は9月28日、第32回定期委員会を岡山市で開催した。本議長は、豪雨災害からの復旧での奮闘や、原水禁や自衛隊基地反対の闘いなど、1年を振り返るとともに、国民投票法を見据え、共闘を広げて改憲阻止をめざそうと挨拶した。

来賓には地元連合をはじめJR総連議員団幹事の矢田議員や単組推薦議員、市民団体、そしてJR総連から田城副委員長が駆け付けた。

議事では、中国地方の米海兵隊岩国基地の増強、自衛隊「イージス・シア」や「宇宙監視レーダー」導入などの現情勢を再認識した。また、吉備線のLRTや宇部線BRT化構想などローカル線の課題、貨物輸送の政策課題のほか、JR貨物の新人事賃金制度検証やJR西日本での再見直しの動きなど労働条件の課題を確認した。そのうえで当面、憲法改悪に反対する闘いを最優先で創っていくこととした。

二部では、連合岡山元会長の森本榮氏から「この国の政治の行方と私たちの任務」参院選後の動向をどうとらえ、どう立ち向かうべきか」と題して講演。改憲の動向や社会情勢、「北朝鮮」・日韓問題の真相を暴き「真実はウソに勝つ、知は権力に勝つ、主権者の意思は権力者の専横に勝つ、自信を持ってウソつき安倍政権に立ち向かおう」と「壊憲阻止」が呼びかけられた。

(JR総連中国地協より)

## 役員体制

議長	野上 猛司 (JR西労)	
副議長	井上 寛雅 (JR貨物労組)	
事務局長	湯谷 邦彦 (JR西労)	
常任委員	沼田 公男 (JR西労)	前原 浩治 (JR西労)
	角南 亘流 (JR西労)	石原 健年 (JR貨物労組)
	西田 茂 (JR西労)	松田 育典 (JR西労)
	上野 圭助 (JR西労)	盛重 耕二 (JR西労)
	金子 真一 (JR西労)	



## 交運労協第35回定期総会でJR北海道への新たな支援などを訴える!

交運労協は10月3日、全日通霞が関ビルにおいて第35回定期総会を開催した。

主催者を代表して、住野議長は「自然災害が多発し、激甚化している。地球温暖化が問題である」「7月に参議院選挙が行われ皆さんのご支援で、5名を推薦し3名当選、政策推進議員懇から1名の当選を勝ち取った。しかし、低い投票率で安倍政権にくさびを入れることはできなかった。年収300万以下の労働者は4割であり、野党の社会保障制度に対する共感が得られなかった。格差が拡大し温かみのある政治が求められる。政策要求の実現に向けて議員懇の拡大が必要。働き方改革が施行されるが人手不足、低賃金、長時間労働の改善のために取り組んでいく」と挨拶した。

議事では、2019年活動報告および決算報告、2020年活動方針及び予算案が提案され満場一致で採択された。

質疑では、JR総連・八幡政策部長が、①自然災害の復旧と防災、減災の取り組みへの財政支援の拡充、②組合員が安全で安心して働くための実効性のある『働き方改革』の実現、③JR北海道の2021年度以降の新たな支援の確定、などについて発言した。

新役員には住野議長、高松事務局長が再任され新たな体制が選出された。JR総連は、加盟単組と協力し、交運労協に集う各産別の仲間と連携し、政策実現に向け奮闘していく。



## 交運労協「政府予算概算要求」の意見交換に参加!

9月26日、国土交通省総合政策局より、交運労協が3月におこなった「2020年度政府予算概算要求」に対する回答があり、その後、意見交換が行われた。

冒頭、国土交通省の瓦林公共交通・物流政策審議官は、「交通運輸産業の発展に対してのご尽力に感謝する。担当部局において十分に検討を行い、予算要求に活かされていると考えるが、今後も現場の声を聞きながら、皆さまと一緒に政策を進めていきたい」と挨拶した。

交運労協を代表して住野議長は、「日頃より交運労協の活動へのご理解・ご指導及び意見交換の場を設けていただいたことに感謝する。政策を前進させるためには予算が必要である。労使間の取り組みには限界があり、地域公共交通の活性化や自然災害復旧対策をはじめ様々な観点で予算確保や税制改正など要請をしている。趣旨をご理解の上、政策推進のために来年度の予算に反映していただき、今後の支援もお願いしたい」と挨拶した。

各担当者からの回答を受けた後、各構成組織から質問及び意見・要請をおこなった。JR総連を代表して、淵上法対・調査部長が出席し、JR北海道の経営安定化に向けて、2021年度以降の新たな支援策についてもあらためて要請をおこなった。

また、10月4日には国土交通省・鉄道局から、交運労協がおこなった要請に対する回答が示され、意見交換をおこなった。JR総連を代表して八幡政策部長が出席し、防災・減災の取り組みや各単組からの要請に基づく様々な支援策の拡充について、要請をおこなってきた。



9月26日



10月4日

# 台湾鐵路工會との定期交流で脱線事故現場で黙とうを捧げる!

## 主な日程

9月23日	本部表敬、歓迎会
9月24日	富岡車両基地見学 (10・21 事故当該台車等)
9月25日	10・21 事故現場 (新馬駅) 視察、黙とう
9月26日	花蓮機関区見学、台湾鐵路管理局長 (国鉄総裁) と面会
9月27日	台北市内見学、帰国



JR総連は9月23～27日、台湾鐵路工會との定期交流を行い、台北市の本部を表敬訪問すると共に、台湾鐵路管理局長(国鉄総裁)と面会した。

今回の交流では、昨年10月21日に発生した宜蘭線普悠瑪号(イーランせんブユマごう)脱線事故現場である「新馬駅」を視察し、黙とうを行い、事故同型車を保守する富岡車両基地を見学することができた。

張理事長は歓迎の挨拶で「昨年12月の訪日時、JR総連の事故に対する姿勢に学び実践してきた。これまでの取り組みを速報という形で報告する。現在、結婚手当について交渉中であり、伊東さつき会館でもてなしが忘れられない」と述べられた。

訪台した5名を代表して榎本委員長は「事故で犠牲になられた方に哀悼の意を表し、ご遺族にお見舞い申し上げます。当局の責任追及、要員不足問題について、組合員に拡げる取り組みをお願いしたい。昨年の交流で安全問題、青年の組織化で議論したことを忘れない。20年の交流の積み重ねをこれからも大切にしていきたい」と述べた。

現場の声を聞き、事故現場を視察して分かったことは、日本製造の事故車両は4個のコンプレッサのうち2個が故障し、元ダメ管空気圧減により緊急停車(非常ブレーキ動作)を4回繰り返すなど、多くの問題を抱えていた。

台湾鐵路工會は、事故原因究明に向けて事故調査委員会に積極的に対応すると共に、①安全改革、②部品の国産化、③人材確保のための福利厚生強化、④青年の育成に取り組んでいる。

JR総連はこれからも安全・平和を求めて国際連帯を深めていく。

# 鉄道ファミリー「2019年秋募集」開始! お近くの役員にご相談を

JR総連・各単組の賛助団体である鉄道ファミリーが秋募集を行っています。

JR積立年金の新規・変更募集やアフラックがん保険・給与サポート保険の案内をしています。

10月1日～31日まで、お近くの分会役員まで…。

**JR積立年金**

新加入者募集中

募集期間 秋募集 2019年10月1日～10月31日  
春募集 2020年4月1日～4月30日

●月払 3,000円より(1口 1,000円)  
●半年払 10,000円より(半年払、一時払は月払加入が条件)  
●一時払 100,000円より

## JR積立年金 5つの特徴

- 1) JR総連のスケールメリットが生かされた制度です。事務手数料が低く抑えられています。
- 2) 若い方はもちろん、すべての組合員のための制度です。老後の備えのほか積立金の範囲内で払い出しができます。また所定の事由に該当した場合、途中での解約も可能です。
- 3) 便利な支払方法があります。掛金は「月払」、「半年払」のほか、余裕資金を「一時払」とすることができます。
- 4) 制度の範囲内で、自由に掛金を決められます。無理なく積み立てることができ、途中で増口・減口も可能です。また、長く積み立てることで、年金資源を増やすことができます。
- 5) 自由な年金選択コースがあります。年金は、10年確定年金・15年確定年金・15年保証期間付終身年金・15年保証夫婦連生終身年金の4種類の中から選択できます。(60歳以降の繰延受給も選択できます。) もちろん、年金に代えて一時金での受け取りもできます。

あなたと家族に安心届けます。保険はまかせてください。

各種のお問い合わせは、パソコン・スマホから可能ですので、ご利用をお待ちしております。

JR総連・各単組賛助団体

検索

(取扱商品)

- ▲自動車保険・火災保険
- ▲ゴルフ保険・サークル保険
- ▲がん保険・医療保険
- ▲給与サポート保険
- ▲JR積立年金
- ▲健康食品・自然食品・カレンダー

〒141-0031  
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル404  
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198